

**「大分市屋外広告物条例等の改正方針(案)」に関する市民意見公募において
寄せられた意見等の概要とそれに対する本市の考え方**

意見募集期間：令和3年5月17日～6月16日

意見提出者数：20名

意見件数：20件

番号	意見の概要	意見に対する本市の考え方
1	<p>看板の劣化による落下、転倒を防ぐ為の定期点検・メンテナンスは、有資格者による点検や写真を基にした劣化の進行度を管理していくことが、事故を防いでいく上で望ましい。 また、施主様とのスムーズな相談や保険への対応もスムーズに行っていける。</p>	<p>適切な維持管理の推進や詳細な安全点検の実施を行い、老朽化した屋外広告物の落下事故等を未然に防止するなど、安全対策をより一層推進するため「大分市屋外広告物条例等の改正方針(案)」に基づき大分市屋外広告物条例等の改正に向け取り組んでまいります。</p>
2	<p>近年、ニュースでも看板の落下であったり強風によって倒れたりする事故をよく見かける。 また、見た目にも古くなっていて下を歩くことも怖いような状態の看板もある。 安心して街を歩けるように知識、経験のある有資格者に、点検・メンテナンスを行っていただきたい。</p>	
3	<p>近年、看板の落下等による事故が多発している状況下で看板の点検・メンテナンスは重要。 当社は、屋外広告物の切替時は管理・点検において免許・資格等を持っている業者に委託している。 安全を第一に考えると、有資格者への依頼が安心出来る。</p>	
4	<p>当社は損害保険を営んでいる代理店ですが、看板については、国の定めに従事した専門の有資格者による管理点検をお願いしている。 万が一事故が発生しても正式な手続きを取り、管理・メンテナンスがしっかりしていれば保険への対応も十分である。</p>	
5	<p>建物の上階部分に設置している看板は、危険度が高いので常に管理が必要。 管理をお願いする際は、専門業者、正式な資格・免許を持たれてる方に徹底した点検・メンテナンスを依頼したい。</p>	
6	<p>屋外広告物は事業を推進するにあたり1つの商業手段であるが、近年、落下事故等が発生しており、大変危険。 常時、看板の点検・メンテナンスは必要不可欠であり、正式な有資格者による安全優先の点検をお願いしたい。</p>	
7	<p>医療は資格を取り専門分野で診察、治療を行う。 看板も専門の会社で管理し、点検・メンテナンスは有資格で行うことが大事。</p>	
8	<p>当社は、壁面にサインを取付ており、落下等のないよう専門の会社に依頼している。 管理についても、きちんとした資格を持っている方に要請している。</p>	

番号	意見の概要	意見に対する本市の考え方
9	<p>ここ数年強風による看板の落下事故が多発しているし、看板等の老朽化は外からでは見えないところで進行している。</p> <p>専門的な知識と経験を積んだ資格を持つ業者が責任ある点検・メンテナンスを行うことは、安心安全のためにとっても重要。</p>	<p>適切な維持管理の推進や詳細な安全点検の実施を行い、老朽化した屋外広告物の落下事故等を未然に防止するなど、安全対策をより一層推進するため「大分市屋外広告物条例等の改訂方針（案）」に基づき大分市屋外広告物条例等の改正に向け取り組んでまいります。</p>
10	<p>看板落下等の事故のニュースがある中で不安な方も多いと思う。</p> <p>事故が発生しないように有資格者に点検してもらう方が安心である。</p>	
11	<p>日頃より広告業を専門とする看板屋で、その業務に従事する有資格者が点検する事が本来当然のあり方だと思うので、改訂方針は賛成である。</p>	
12	<p>地震や台風等の自然災害による損壊、老朽化など、看板落下のニュースを目にすることが多くなっている。</p> <p>ケガのリスクや最悪なケースを招く事も考えられ、看板の点検やメンテナンスは重要である。</p> <p>日常生活を安心しておくる為には、正確な知識を持つ有資格者に管理・点検を行っていただく必要がある。</p>	
13	<p>目視による点検だけでなく、内部のサビや劣化状況も専門の業者がチェックした方がより安全に管理できる。</p>	
14	<p>資格を持っている方に、看板の点検をしていただくと安心である。</p>	
15	<p>老朽化等による屋外広告物の落下等の事故が発生しており、安全性の確保が問題とされている。</p> <p>安全点検の義務化、有資格者による点検がとんでも重要である。</p>	
16	<p>経験と知識のある有資格者が安全点検を行うことにより、より細かく、より安全に点検ができ落下事故を防ぐ事ができる。</p>	
17	<p>屋外広告物の点検にあたっては、国土交通省の「屋外広告物条例ガイドライン」に沿って、屋外広告士と同等以上の知識を有する者にさせるべきと考える。</p> <p>同省の「屋外広告物条例ガイドライン運用上の参考事項」には、広告物の点検に関する技能講習の修了者等も考えられると有るが、現在各地で行われている「屋外広告物点検技能講習」は1日間だけの座学で試験も行われない事から、これを修了された方が試験を合格された「屋外広告士」と同等以上の知識を有するとは、到底考えられない。</p> <p>他の自治体においても、点検者・管理者の資格要件から「屋外広告物講習」「屋外広告物点検技能講習」修了者を除外しているところも多くある。</p> <p>以上のことにより、大分市の条例改正案について賛同する。</p>	

番号	意見の概要	意見に対する本市の考え方
18	<p>講習会修了者を資格要件から除外する事は必須と考える。</p> <p>近年、台風や局地的な暴風など看板全体に対するリスクが高くなることにより、看板施工はもとより管理・点検においても施工時と同等の厳しい点検を課すべきであると考えます。</p> <p>当該点検をする為の資格を有するという事は、その分野に不可欠な専門的知識、経験を持っている者である事、その権利と義務を併せて持ち得ている事だと理解する。</p> <p>しかしながら、現行条例においては、1日の講習のみで、この大きな危険を伴う点検の資格を有する事になるわけである。景気が悪くなってくると一番に経費削減の対象になるのが広告宣伝費であるということはよく聴く話ではあるが、一度の点検費を節約したことで最悪の場合は尊い人命と会社の信用を失うことになるとしたならばこの選択は正しいものと言えるのだろうか。</p> <p>一市民として周りに数多くある看板の恐怖を少しでも軽減したい。危険な看板かどうかも見分けがつかないままその横を或いは下を通るのが本当に怖い。</p> <p>少しでもその様なリスクを減らす為にもしっかりした資格を持った業者にその点検を委ねたい。</p>	<p>適切な維持管理の推進や詳細な安全点検の実施を行い、老朽化した屋外広告物の落下事故等を未然に防止するなど、安全対策をより一層推進するため「大分市屋外広告物条例等の改訂方針（案）」に基づき大分市屋外広告物条例等の改正に向け取り組んでまいります。</p>
19	<p>近年の気象変動や景気の悪化等、看板を取り巻く環境は非常に悪化しているのではないかと危惧している。</p> <p>現行条例においては、1日の講習を受講するのみでこの大きな危険を伴う点検の資格を有することになる。</p> <p>こここのところ全国ニュースになるほど看板落下事故が散見している。いたる所に乱立する看板は、素人目にはどれが十分な点検をなされたものなのか全く分からない。</p> <p>自分の命は自分で守る物だと考えたときに少しでもリスクは排除したい。以上の理由で本条例の改正を強く希望する。</p>	
(その他の意見)		
20	<p>隣接ビル屋上のデジタルサイネージの設置により、早朝から深夜までLED光線を浴びせられ体調を崩し迷惑している。</p> <p>夜は、色とりどりの光が瞬時に変わり、目がチカチカして屋上に立ってられない状況である。</p> <p>他都市の事例や国際照明委員会（CIE）が策定した「屋外照明による障害光抑制ガイド」を遵守し、市民が健康・安全で暮らせるように、光に対しての強さや面積等についても規制強化を求めたい。</p> <p>また、高所位置の屋外突出広告物は、落下危険性が高く事故に繋がる為、禁止すべきである。</p> <p>近年、地震・台風の災害が多くなっていることから、1日でも早く改正・見直しをお願いしたい。</p>	<p>いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>